

## 立水栓(ワイヤレススイッチ式)

..... AY40S3-13

## 施工・取扱説明書

施工、ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工、ご使用ください。



## 本製品について

各部の名称・寸法図..... 1~2

## 施工について

施工に関する安全上のご注意... 3~4

適切な使用条件..... 5

施工前のご注意..... 6

梱包明細..... 6

施工手順..... 7~13

## ご使用について

ご使用に関する安全上のご注意..... 14~16

リモコンの設置..... 17

リモコンのペアリング..... 17

ご使用前の確認..... 18

ご使用方法..... 18

凍結予防..... 18

## 日頃のお手入れ

汚れの拭き取り..... 19

ストレーナパッキン・  
吐水口の掃除..... 20

## 定期的な点検・部品交換

電池交換..... 21

配管周りの水漏れ・器具の  
ガタツキ・ホコリの除去..... 22

## こんなときは

故障? その前に..... 23~24

本製品の構造..... 25

## その他

仕様..... 25

## 保証とアフターサービス

保証とアフターサービス..... 26

保証書..... 裏紙

## お客様へ

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも読める所に必ず保管してください。

なお、保証書にお買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名の記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

## 工事店様へ

施工後、保証書に貴店名ならびにお取付け年月日をご記入のうえ、本書と共にお客様へお渡しください。

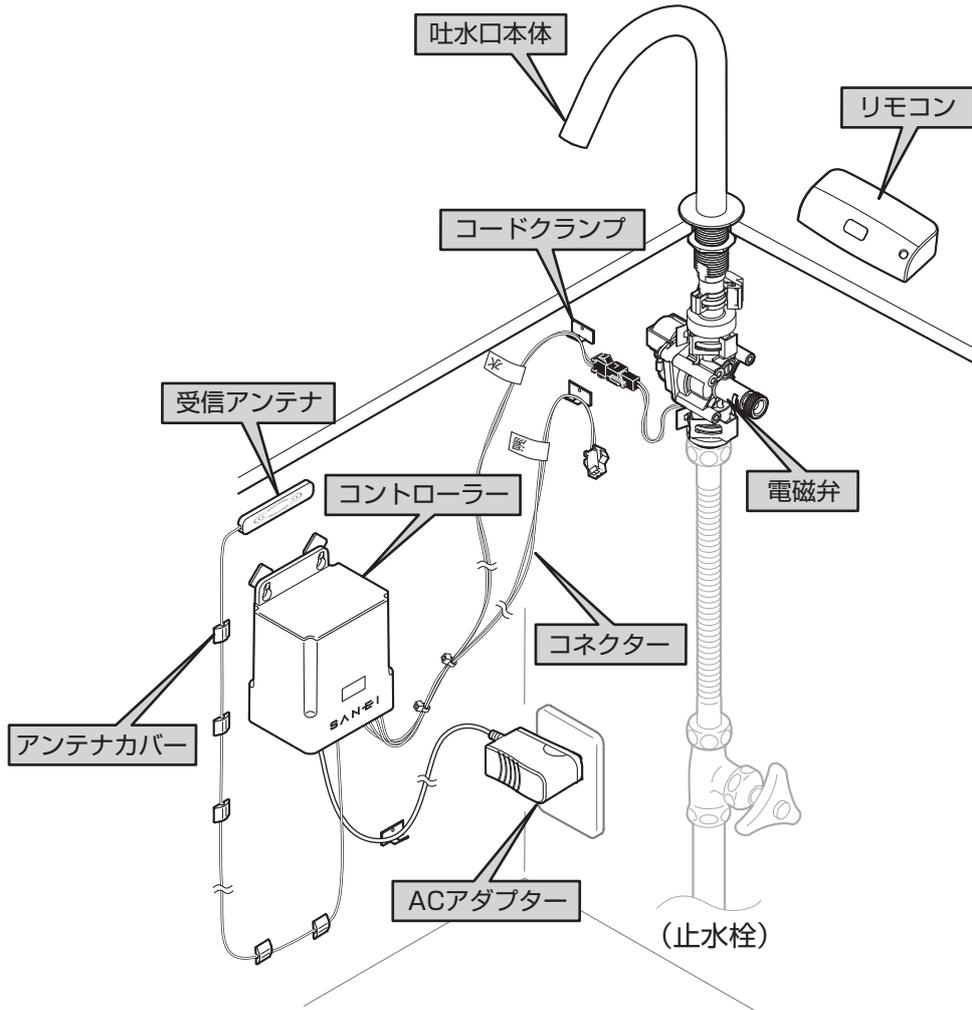
# 本製品について 各部の名称・寸法図

## 各部の名称

### 本製品の 特長

- 検知窓に手をかざす動作で、水を出したり止めたりできる便利商品です。
- コントローラーの作動電力は AC100V です。停電時等に AC100V の供給が止まった場合は、バックアップ電源としてアルカリ乾電池（単3×4本・別売）で動作させることが可能です。
- リモコンの作動電力はアルカリ乾電池（単3×2本・別売）です。
- 停電時等にバックアップ電池が消耗して使用できない場合のために、栓棒（緊急用強制開放ねじ）※を搭載しました。

※ 栓棒（緊急用強制開放ねじ）は、停電時等に電力供給が遮断され、かつバックアップ電池での作動ができない状態に陥った場合を想定し、緊急措置として水を出せる状態にするためのものです。ただし、この措置はあくまで緊急用のため、吐水量などは通常使用時とは使い勝手が異なり、使用環境によっては異音が発生するおそれがあります。この状態での長期使用は機器の寿命を縮める原因になりますので、ただちに電池交換を行っていただくことで通常使用に戻っていただくか、電力供給開始までのご使用をお控えください。参照:P23

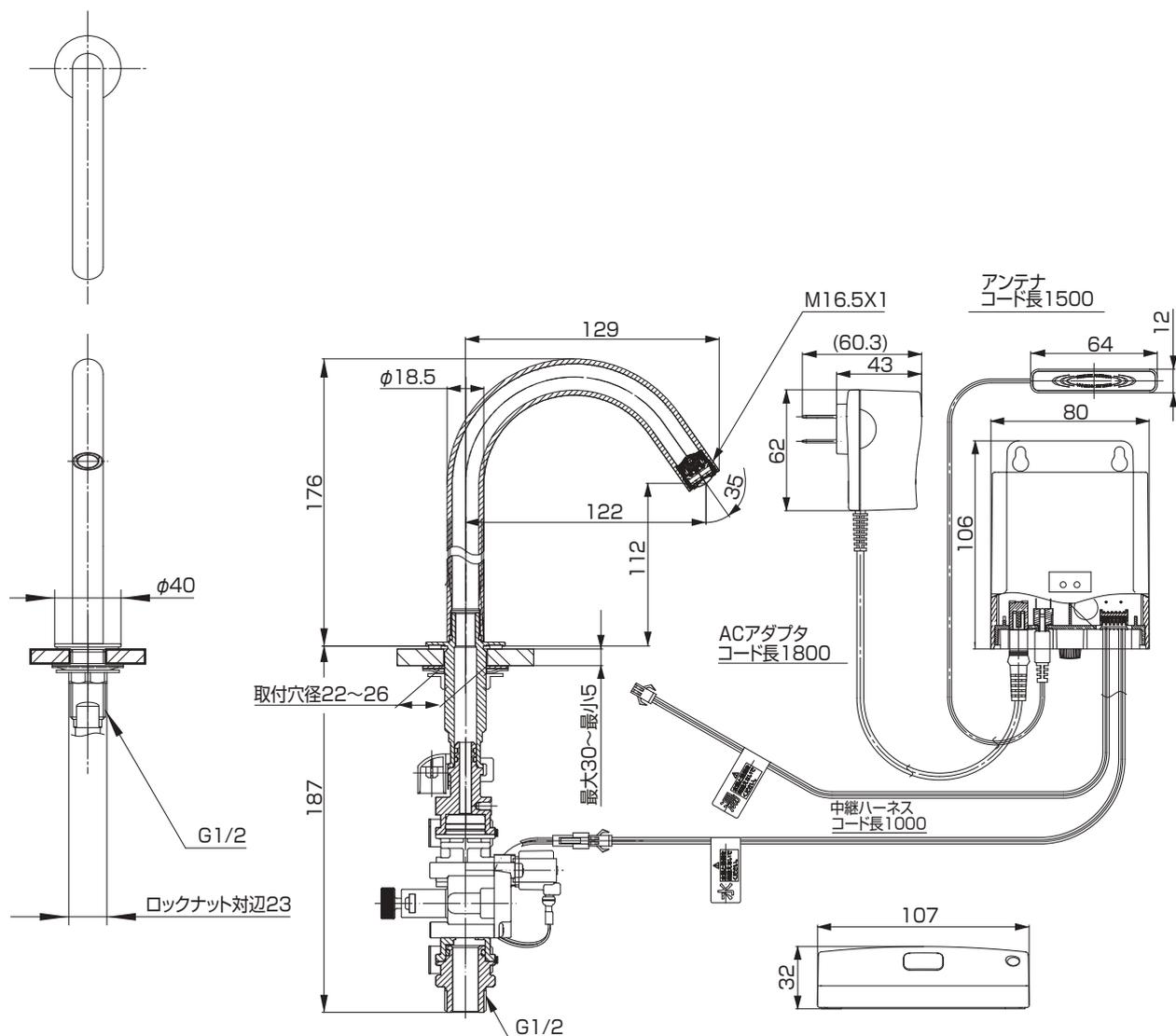


コントローラー下面	付属品
<p>ACアダプター 電源コード差込口</p> <p>受信アンテナ コード差込口</p> <p>コネクター コード差込口</p> <p>手動スイッチ</p> <p>電池ケース</p> <p>正面</p>	<p>フック</p> <p>×2</p> <p>取付ねじ</p> <p>×4</p>
アルカリ乾電池（単3×4本・別売り）※停電時等のバックアップ用。別途ご用意ください。	

リモコン裏面
<p>正面</p> <p>電池フタ</p> <p>ゲルシート（本体貼りつけ済）</p>
アルカリ乾電池（単3×2本・別売り）

- 水勢調節及び製品の点検を容易にするために、別途止水栓をご用意ください。

寸法図



# 施工について

## 施工に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果（傷害・物損）に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がない事を確認すると共に、工事店様は説明書に沿ってお客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- 施工は、水道法、その他の関係する法規などに従って行ってください。

### 用語および記号の説明

**警告** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

**注意** …………… 「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

 …………… 「注意しなさい！」（上記の「注意・警告」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。）

 「してはいけません！」  
（一般的な禁止記号です。）

 「水や液体をかけたり、浸けてはいけません！」

 「分解してはいけません！」

 「指示した場所に触れてはいけません！」

 「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

 「指示通りにしなさい！」  
（一般的な行動指示記号です。）

#### 警告

 本製品は、日本国内の手洗用です。それ以外の条件下には設置しないでください。

 製品、ACアダプターや電磁弁・コントローラー・コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。火災や感電の原因になります。

 ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。  
【してはいけない例】  
●傷つける ●加工する ●無理に曲げる  
●ねじる ●引っ張る ●重いものを載せる  
●挟み込む ●加熱する  
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

 ガタついているコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

 指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。火災の原因になります。

 この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

 コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。火災の原因になります。

 電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わないでください。火災や感電の原因になります。

 雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。感電の原因になります。

#### 警告

 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。感電の原因になります。

 ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。火災や感電の原因になります。

 ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。火災や感電の原因になります。

 高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器や医療機器の近くで作動させないでください。  
自動制御機器やペースメーカー、その他医療機器に影響を与え、事故の原因となるおそれがあります。当該の医療機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。なお、このリモコンは微弱電波無線機器に該当し、出力は315MHz帯、500μV/m以下です。

 浴室など湿気の多い場所には設置しないでください。故障や感電の原因になります。

 絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。火災や感電の原因になります。

 通水温度は40℃以下で使用してください。  
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

 ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続金具をゆるめず、止水栓を閉めてから行ってください。  
水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

**⚠ 注意**



製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
【してはいけない例】  
●固いものをぶつける ●重いものを載せる  
故障や漏水の原因になります。



屋外や凍結が予想される場所には設置しないでください。  
部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。  
凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。



新・旧および異なる種類の電池を混ぜて作動させないでください。  
電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。



作動の際は、ACアダプターをご使用ください。  
バックアップ電池のみでの作動はお控えください。



インバータを用いた他の機器により、誤作動することがあります。それぞれ離して施工してください。  
誤作動の原因になります。



施工完了後、長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。  
●ACアダプターを抜く  
●リモコン・コントローラーの電池を取りはずす  
誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因になります。



リモコンをはずしたり、移動したりする際は、止水栓または配管部の元栓を閉めてください。  
不意にリモコンが反応し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

**⚠ 注意**

**リモコンの取付けに関する注意事項**



表面材質の弱い場所にリモコンを取付けしないでください。  
塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質によっては、リモコンを取り外す際に塗装や表面材がはがれたり、変色・劣化するおそれがあります。



リモコンは床上など、危険が想定される場所に取付けしないでください。  
転倒などによるけがや、使用時以外にセンサーが反応し、家財などを濡らし財産損害発生のおそれがあります。



リモコンを取り外す際は、表面を保護するために、リモコンをゆっくりはがしてください。  
強い力で急にはがすと、リモコン取付部を傷つけたり、塗装や表面材がはがれる原因になります。



リモコンを貼付けるときは、貼付け面の汚れをきれいに拭き取ってください。  
汚れたまま貼付けると、ゲルシートの粘着度が落ち、落下の原因になります。



リモコンは何度も取りはずさないでください。  
ゲルシートの強度が落ちます。

- 給水圧力：
  - 最低必要水圧(流動時)：0.05MPa
  - 最高使用水圧(静止時)：0.75MPa
- 使用最高温度：40℃以下
- 使用可能水質：水道水及び飲用可能な井戸水
- 用途：一般住宅用

### 給水圧力についてのご注意

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁などで0.2～0.3MPa程度に減圧してください。
- 止水時の水撃音が大きい場合は、止水栓で流量を調節してください。それでも直らない場合は、水撃低減器（SANEI品番：T1670-13）を取付けてください。

### 配管についてのご注意

- 取付け後の保守点検のために、必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 食器洗淨機などで連続給水が必要な場合は、給水管を電磁弁の前(上流側)から分岐してください。リモコン操作によって、断水されるおそれがあります。

### 設置場所についてのご注意

- リモコンや受信アンテナの設置場所によっては、電波を受信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。

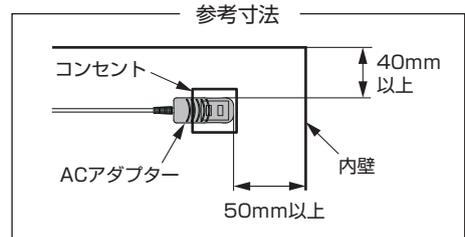
電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。

- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗淨機などの機器が近くにある場合。

- ACアダプターは、キャビネットの内壁にぶつからない位置に取付けてください。

- コントローラーは、電池交換ができるように、床面から離して取付けてください。



### その他のご注意

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 給水は、上水道に接続してください。
- 施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。

# 施工について

## 施工前のご注意

- 給水は、上水道に接続してください。
- 取付後の保守点検のために必ず止水栓（別売）と点検口を設けてください。
- 開梱、施工の際は製品に傷をつけないようご注意ください。
- 配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。

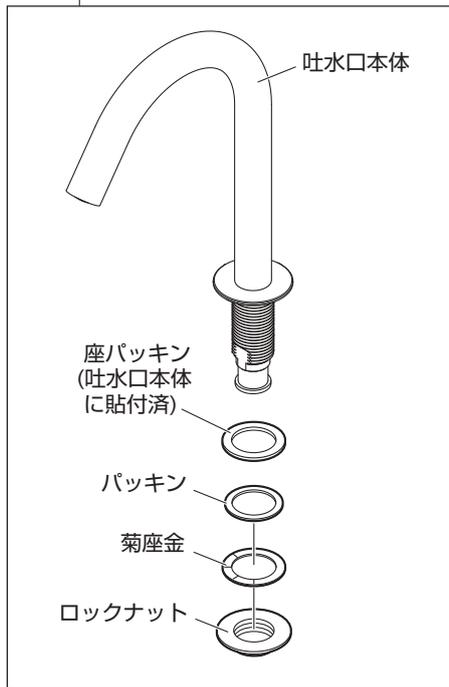
# 施工について

## 梱包明細

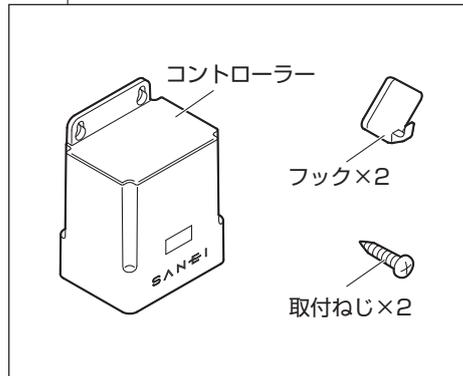
●本書（施工・取扱説明書「保証書付」）×1

●通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

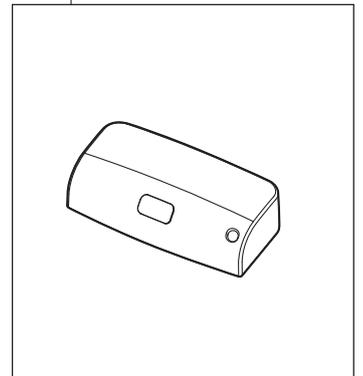
### 吐水口本体



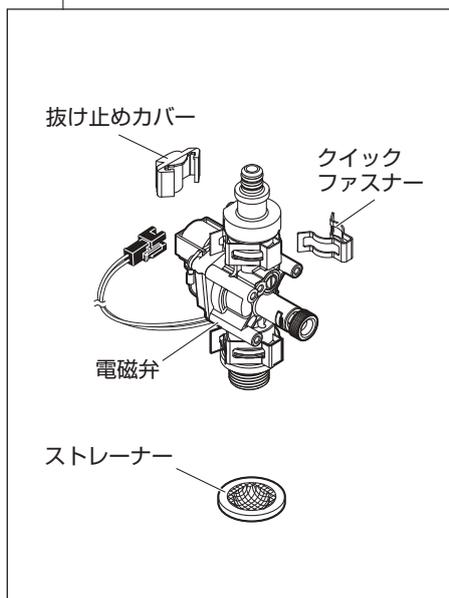
### コントローラー



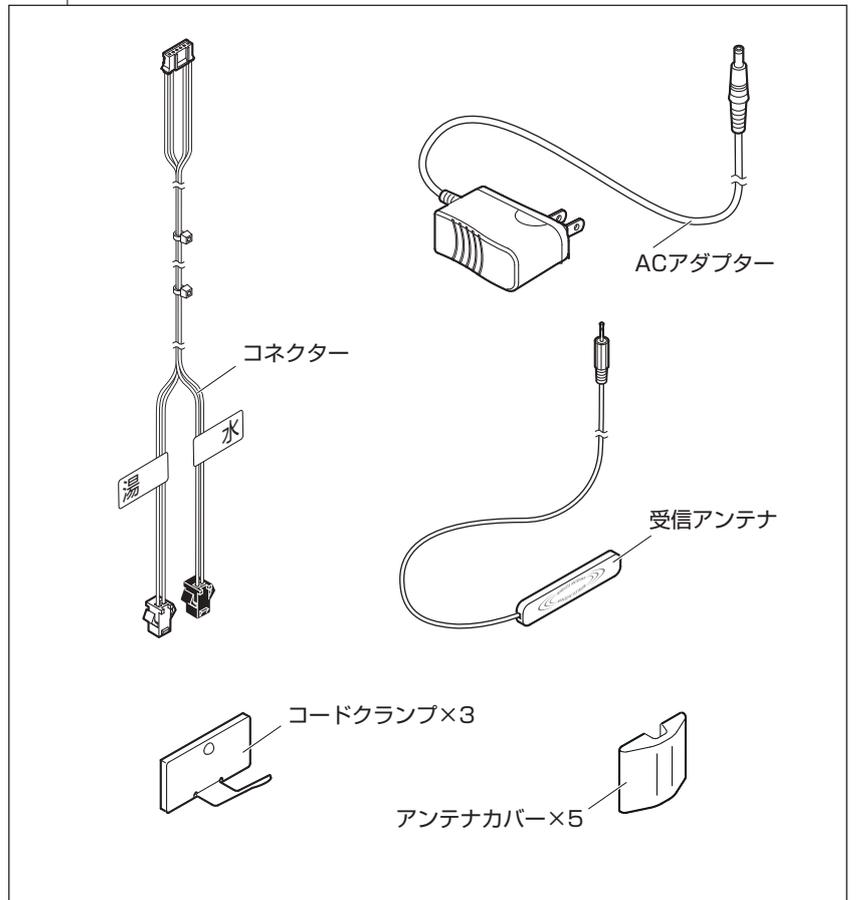
### リモコン



### 電磁弁組品



### コード類

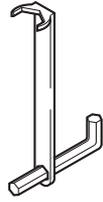


## 主な工具類

### ■ ナット締付工具：

ロックナットを回す時に必要です。

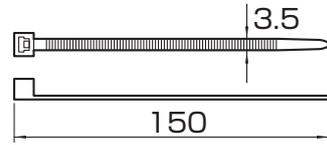
ナット締付工具  
SANEI品番：R354  
(ナット締付工具)



※ 古い水栓を取りはずす際はロックナット対辺を確認してください。上記寸法と異なる場合があります。

### ■ 結束バンド：

出荷時に取付けている結束バンドをはずす場合、再取付時に必要です。



### ■ スパナ・モンキーレンチなど：

水栓のナットや袋ナットが回せる工具。



### ■ ラジオペンチなど：

ホースクランプを固定する際に使用します。



### ■ 手袋：

ケガ防止のために着用してください。



### ■ 使い古しのハブラシなど：

取付穴周囲などの掃除ができるもの。



### ■ タオルなど：

ケガ防止や水栓保護のために使用します。



### ■ ぞうきんなど：

配管中の残り水を拭くのに使用します。



## 1 配管内の掃除をします。

### 注 意



配管内のシールテープくずやゴミをきれいに取除き、

**必ず通水して配管内のゴミを完全に洗い流してください。**

(元栓の開閉はP23を参照してください。)

水栓金具内にゴミなどが混入すると止水不良や水栓の故障の原因となり、

**この場合には有償修理となります。**

## 2 リモコンを登録します。

- (1) コントローラーにACアダプターと受信アンテナを付けます。
- (2) リモコン・コントローラーそれぞれにアルカリ乾電池(単3)をいれます。参照：P21
- (3) コントローラーの手動スイッチを押した状態で、登録するリモコンに手をかざします。コントローラーより、「ピッ」という音が鳴れば完了です。

登録	「ピッ」短い音
削除	「ピーッ」長い音

※ リモコンにはIDコードが登録されています。IDコードをコントローラーに登録しないと、リモコンを使用することができません。  
 ※ (1)・(2)の動作をもう一度行うと解除されます。  
 ※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。



注意

リモコン登録のための手順です。操作しやすい場所で行ってください。

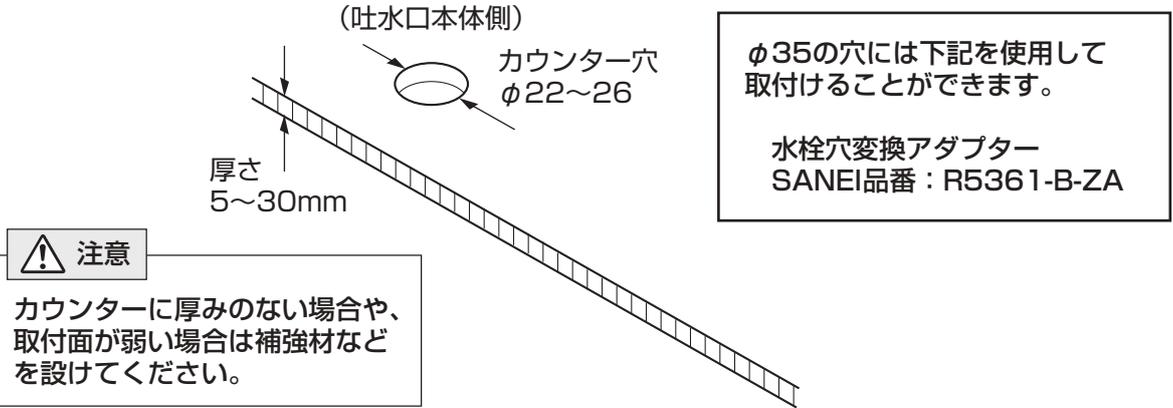


### 3 吐水口本体を取付けます。



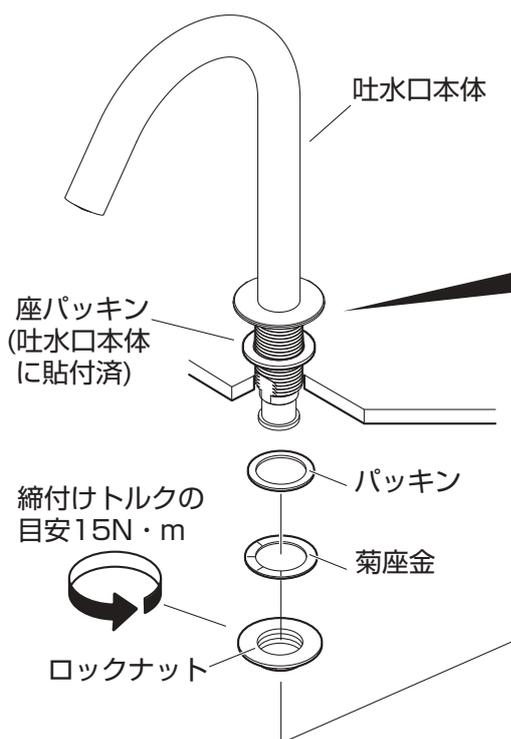
コード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷つかないように注意してください。

(1) カウンター穴の寸法を確認してください。

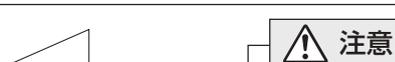
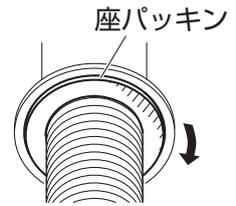


カウンターに厚みのない場合や、取付面が弱い場合は補強材などを設けてください。

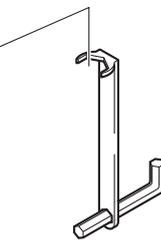
(2) 取付場所のスペースを確認してから、吐水口本体が正面を向くように、締付工具で固定してください。



- 吐水口本体をカウンターに押しつけて固定してください。
- カウンター穴中央に施工してください。座パッキンが穴からずれるとカウンター下への漏水の原因になります。
- 吐水口本体に浮きがないよう注意してください。
- ねじ部で手を切らないように注意してください。
- 本体とコード類のかみ込みに注意してください。



- ロックナットを締付ける際は、吐水口本体が回らないようにしっかりと吐水口本体の根元を押さえてください。
- 緩みがないように確実に締めてください。ナットが確実に締付けられていないと、本体が傾いたり水が漏れることがあります。
- パッキンが入っていることを確認してください。パッキンが入っていないとカウンター下への漏水の原因になります。



ナット締付工具  
SANEI品番：  
R354  
(ナット締付工具)



## 4 電磁弁組品を吐水口本体に接続します。

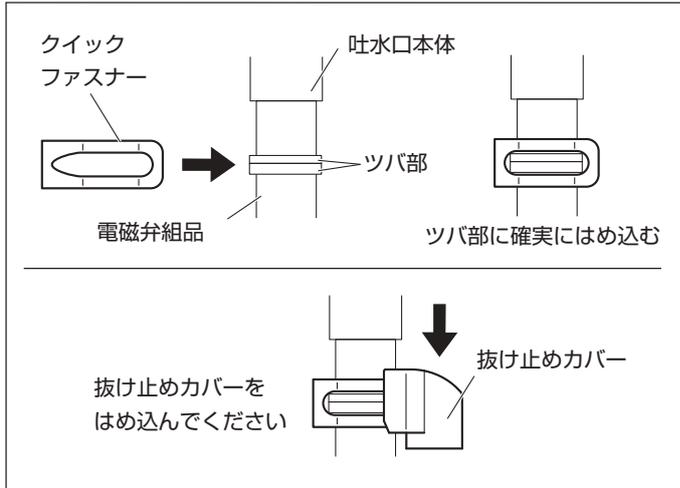
電磁弁組品のクイックファスナー、抜け止めカバーを取りはずし、吐水口本体に取付けてください。

(1) 電磁弁組品を吐水口本体に接続してください。

### ⚠ 注意

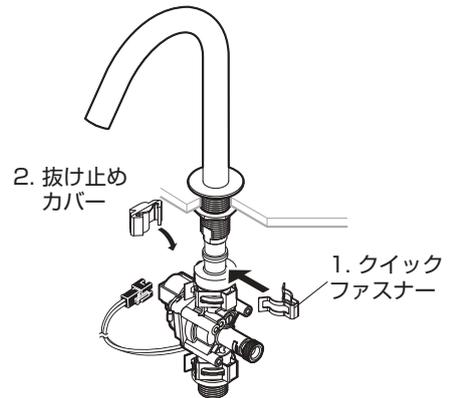
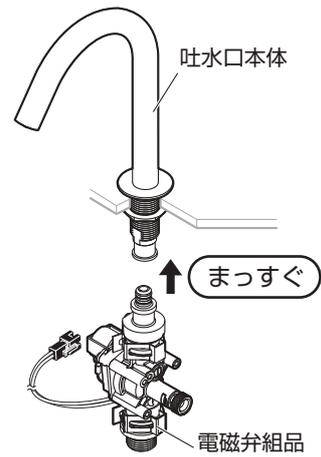
電磁弁組品は吐水口本体にまっすぐ取付けてください。オリングが破損し、水漏れの原因になります。

(2) 接続部にクイックファスナーを取付け、抜け止めカバーをクイックファスナーに取付けてください。



### ⚠ 注意

- ねじ部やツバ部の凹凸で手を切らないように注意してください。
- クイックファスナーは、ケガのないよう取扱いに注意してください。
- クイックファスナーは、広げないでください。
- 固定後、電磁弁組品を下向きに引っ張って抜けない事を確認してください。
- ケーブルを引っ張らないでください。



## 5 止水栓と接続します。

電磁弁組品をスパナやモンキーレンチなどの工具を用いて、配管に取付けます。

### ⚠ 注意

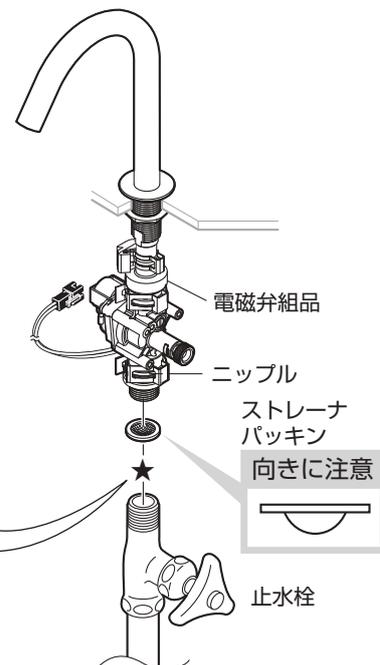
- 通水温度は40℃以下で使用してください。  
やけどや水栓の破損による水漏れなどのおそれがありますので、水側の配管に取付けることをおすすめします。
- ストレーナパッキンが入っていることを確認してください。  
ストレーナパッキンが入っていないとゴミが混入し、故障の原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。  
確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

「★」の位置に、フレキチューブ(別売)、パッキン(別売)等を使用して止水栓に電磁弁組品を取付けてください。

【参考】  
SANEI品番：T15B-13X100(150,350)-A  
(フレキチューブ)

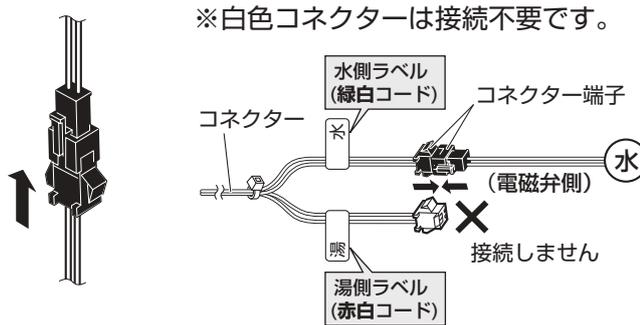
- 長さ：100(150,350)mm
- ねじ：G1/2 ●曲げR：R40以上

フレキ  
チューブ  
(別売)  
パッキン



## 6 ケーブル・コード類を接続します

(1) 電磁弁ケーブルの黒色コネクタを、電磁弁組品の黒色コネクタに接続してください。

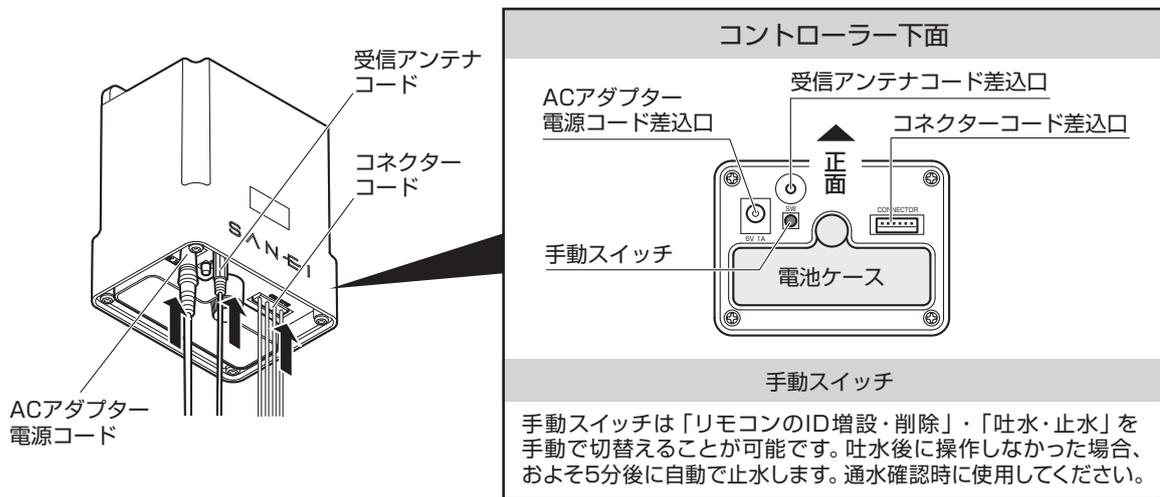


**注意**

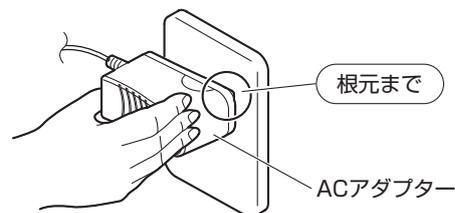
コネクタは、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

(2) コントローラーに電池を入れてください。

(3) コネクタ、受信アンテナ、ACアダプターのコードを、それぞれコントローラー下面の差込口に確実に差し込みます。



(4) コンセントにACアダプターを根元まで確実に差し込んでください。

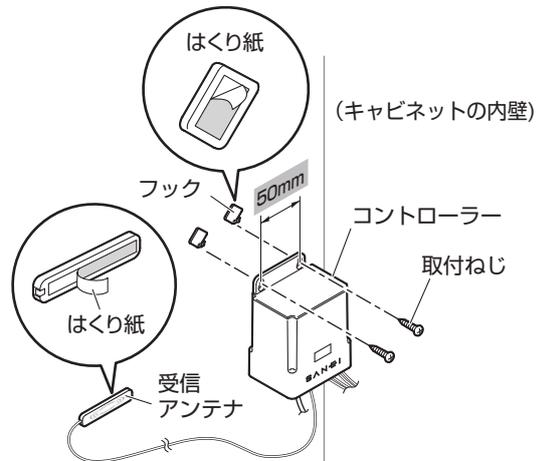
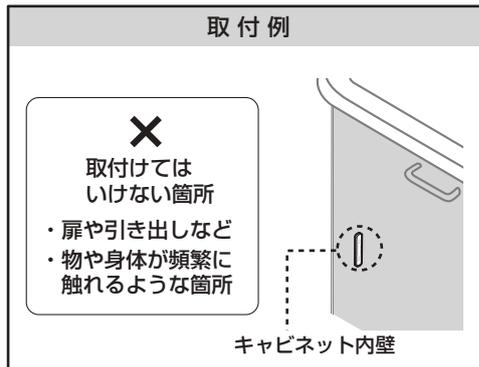


## 7 コントローラー・受信アンテナの取付け

### ⚠ 注意

- 万が一電磁弁から漏水した場合でもぬれないように、コントローラーは電磁弁よりも高い位置になるように固定してください。
- 次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。
  - ・ カウンターが電波を阻害する材質である場合。
  - ・ インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
  - ・ テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
  - ・ リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
  - ・ 周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
  - ・ 食器洗浄機などの機器が近くにある場合。
- コントローラーは、上下逆向きや横向きに取付けしないでください。
- 受信アンテナは、金属面には取付けしないでください。電波の受信ができず、動作しない原因となります。
- 受信アンテナは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。電波の受信ができず、動作しない原因となります。
- 受信アンテナは、扉や引き出しなど開閉する際に動く箇所や、物や身体が頻繁に触れるような箇所には取付けしないでください。コードの断線や故障の原因となります。
- フック・受信アンテナを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因となります。
- フック・受信アンテナは、何度も取りはずさないでください。取付面の強度が落ち、落下の原因となります。

- (1) コントローラーをフック(2個)または取付ねじ(2本)で、キャビネットの内壁(横の面、もしくは奥の面)に取付けます。
- (2) 受信アンテナを、リモコン取付位置から1m以内に取付けてください。



リモコンの取付位置については、お客様とご相談ください。



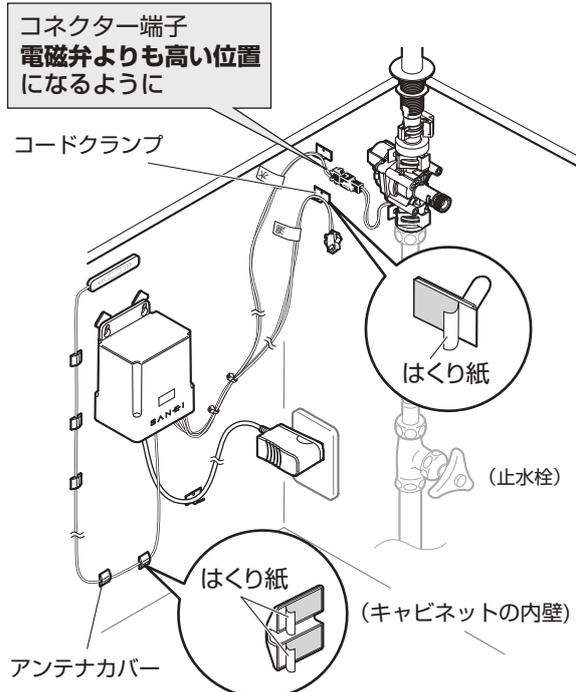
### ⚠ 注意

コントローラーは、電池交換ができるように、床面から離して取付けてください。

- (3) コードクランプ・アンテナカバーを使って、コード類をキャビネットの内壁に固定してください。

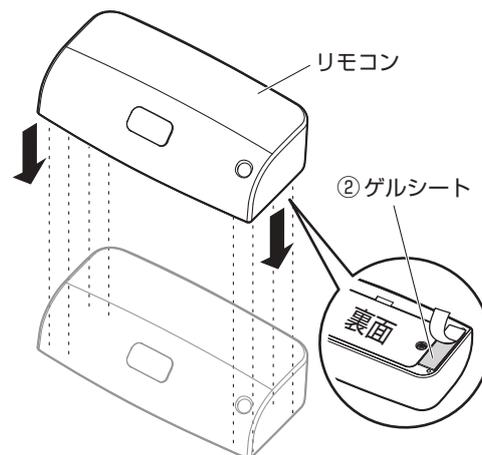
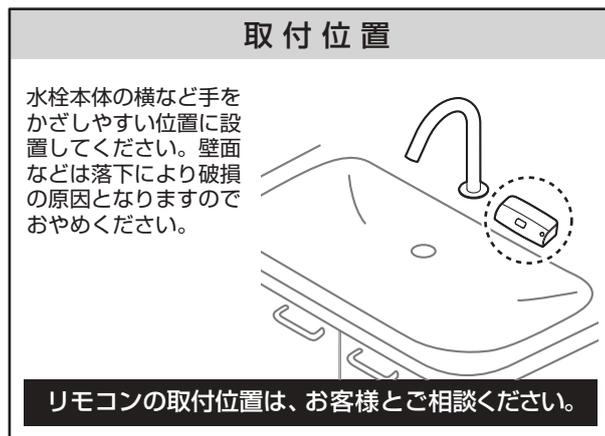
### ⚠ 注意

- 万が一電磁弁から漏水した場合でもぬれないように、コネクター端子が電磁弁よりも高い位置になるように固定してください。
- コード類を固定する際は、できるだけキャビネットの内壁に添わせ、扉や引き出しなどに挟まらないように注意してください。コード類が浮いていると、扉や引き出しの開閉時にコードが挟まり、コードの断線や故障の原因となります。
- コードクランプ・アンテナカバーを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。汚れたまま貼付けると、取付面の強度が落ち、落下の原因となります。
- コードクランプ・アンテナカバーは、何度も取りはずさないでください。取付面の強度が落ち、落下の原因となります。



## 8 リモコンの設置

- (1) リモコンに電池を入れます。※P21参照
- (2) リモコン裏面のゲルシートのはくり紙をはがし貼付けます。



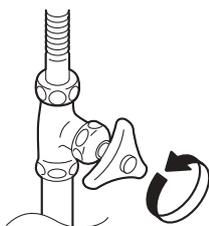
### ⚠ 注意

#### ※ P4の リモコンの取付けに関する注意事項 を併せてご確認ください。

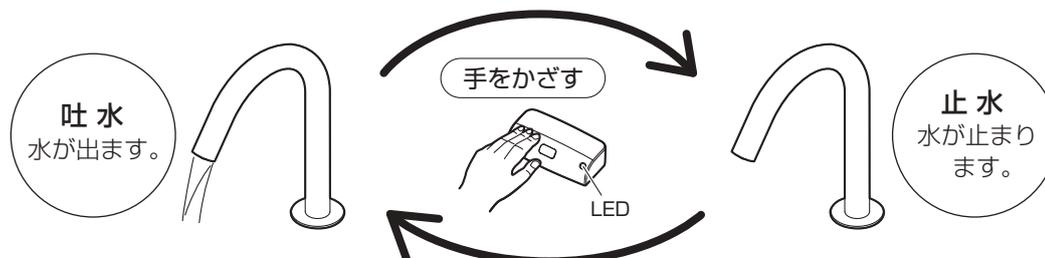
- |  |   |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンは落下しないように、水平な場所に必ず固定してご使用ください。<br/>落下させると、リモコンが破損する原因になります。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。<br/>電波の送信ができず、動作しない原因になります。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●設置場所によって電波を送信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。<br/>電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カウンターが電波を阻害する材質である場合。</li> <li>・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。</li> <li>・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。</li> <li>・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。</li> <li>・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。</li> <li>・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。</li> </ul> </li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>●リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。</li> </ul>  |   |

## 9 試運転

- (1) 止水栓を開けます。



- (2) センサーが反応すると、その都度吐水・止水が切替わります。



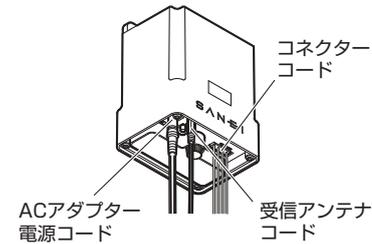
手をかざして反応するとLEDが点灯します。  
点灯しない時は反応していません。

- ※ LEDが点灯している間は再び手をかざしても次の動作の受け付けを行いません。
- ※ リモコンに強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- ※ 吐水後に操作をしなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。

# 10 ガタツキ・水漏れ・各部の点検

## コード類・ACアダプターの点検

コード類やACアダプターは、確実に接続されていますか？

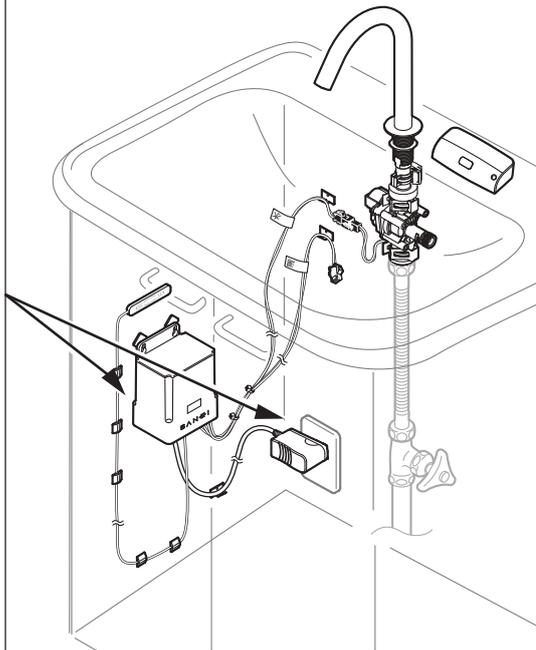


- ①コネクター、受信アンテナ、ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。
- ②コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。



- コネクター端子が電磁弁よりも高い位置になるように固定されていますか？

## 施工完了後、各部を確認してください。



ガタツキはないか

水漏れはないか

正常に作動するか

確認

## 給水ホースの点検

水栓の給水ホースが極端に折れ曲がっていませんか？

## キャビネット内の点検

キャビネット内の扉を引き出し、収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？

## 電磁弁の点検

- 水漏れはないですか？

→ 水漏れがある場合、電磁弁を取付け直してください。

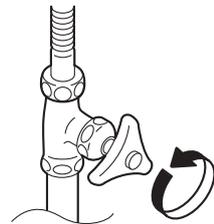
参照 P.9

- 止水栓に正しく接続されていますか？

→ 正しく接続されていない場合、電磁弁を取付け直してください。

参照 P.9

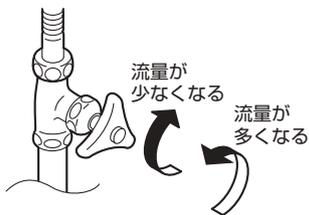
- 止水栓は開いていますか？



## 流量調節がうまくできない場合

止水栓は調節されていますか？

→ 止水栓で流量を調節してください。



ストレーナのごみ詰まりはありませんか？

→ ストレーナの掃除をしてください。

参照 P.20

## リモコンにかざしても止水できない場合

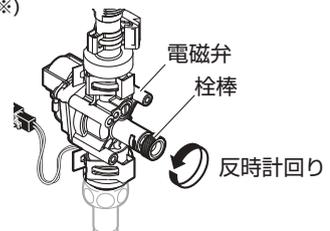
電磁弁が強制開放されている状態になっていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。(※)

### 【栓棒の戻し方】

電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回してください。

※ 湯側を操作する際は熱くないことを確認してください。



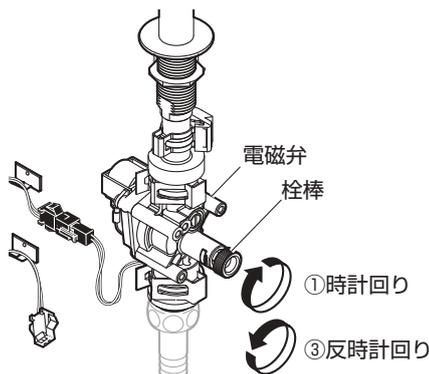
(※) 停電時等に電力供給が遮断され、かつバックアップ電池での作動ができない状態に陥った場合を想定し、緊急措置として水を出せる状態にするためのものです。

## 吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)する場合

電磁弁にエアが入っていませんか？

→ 電磁弁の栓棒を元に戻します。(※)

- ① 電磁弁の栓棒を時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ② 30秒程度連続吐水させます。  
・ 止水栓が開いていれば、リモコン操作をしなくても吐水します。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに回転させます。(当たりまで)
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ 吐水口本体に手を触れて、吐水および止水させ、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)が無いことが確認できれば完了です。



本誌  
施工・取扱説明書は  
必ずお客様に  
お渡しください。



# ご使用について

# ご使用に関する安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果(傷害・物損)に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

**警告** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じる事が想定されます。」

**注意** ……「取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が発生する危険な状態が生じる事が想定されます。」

 ……「注意しなさい!」(上記の「警告・注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項を守ってください。)

 「してはいけません!」  
(一般的な禁止記号です。)

 「濡れた手で触れては  
いけません!」

 「指示通りにしなさい!」  
(一般的な行動指示記号です。)

 「分解してはいけません!」

 「水や液体をかけたり、  
浸けてはいけません!」

 「電源プラグをコンセントから  
抜きなさい!」

 「指示した場所に触れては  
いけません!」

 「バスルームやシャワールームなどの水場で  
使用してはいけません!」

**警告**

 本製品は、日本国内の手洗用です。それ以外の条件下には設置しないでください。

ACアダプターおよびコード類が破損するようなことをしないでください。

【してはいけない例】

- 傷つける ●加工する
- 無理に曲げる
- ねじる ●引っ張る
- 重いものを載せる
- 挟み込む ●加熱する

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

 製品、ACアダプターや電磁弁・コントローラー・コード類に水や洗剤、汚水をかけないでください。火災や感電の原因になります。

 ACアダプターは、同梱以外のものを使用しないでください。火災や感電の原因になります。

 ガタついているコンセントは使用しないでください。火災や感電の原因になります。

 指定された電源(AC100V)以外で使用しないでください。火災の原因になります。

 コンセントや配線器具の定格を超える使い方は避けてください。火災の原因になります。

**警告**

 電源コードの加工(切断・継ぎ足し)を行わないでください。火災や感電の原因になります。

 ACアダプターを濡れた手でさわらないでください。感電の原因になります。

 ACアダプターをコンセントに差し込むときは、根元まで十分差し込んでください。火災や感電の原因になります。

 ACアダプターを抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。火災や感電の原因になります。

 雷が発生しているときは、ACアダプターに触らないでください。感電の原因になります。

 ACアダプターについてのホコリは、取除いてください。ACアダプターの端子にホコリがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布で拭いてください。

 浴室内や屋外など、湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電、故障の原因になります。

## 警告

絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。

火災や感電の原因になります。



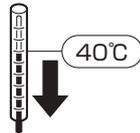
この商品を構成する部品以外の取付けや、部品の取りはずしなどの改造はしないでください。

故障や感電の原因になります。また、商品の性能を損ない、やけど・けがをしたり、水漏れによる家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



通水温度は40℃以下で使用してください。

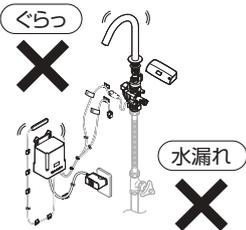
40℃より高温でご使用になると、やけどをしたり、器具の寿命が短くなり水栓が破損し、水漏れのため家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



定期的に、配管周りの水漏れや、ガタツキがないか確認してください。



劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



小さいお子様だけのご使用は、避けてください。

やけど・けがをするおそれがあります。



下記のものは、子供が飲み込まないように注意してください。

- 電池 ●アンテナカバー
- ねじ ●コードクランプ
- フック ●ゲルシート

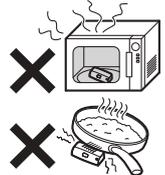


万一、飲み込んだときは、ただちに医師と相談してください。



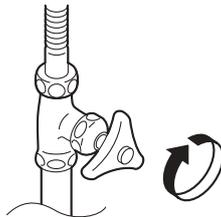
リモコンを調理機器などで加熱しないでください。また、加熱直後の調理器具など、熱のある部分に接触させたり、熱源の近くに置いたりしないでください。

やけどや故障の原因になります。



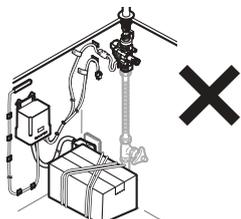
ストレーナの掃除をする際は、いきなり接続間具をゆるめずに、止水栓を締めてから行ってください。

水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。参照：P20



収納物などを収納する際は、コード類に引っ掛からないように注意してください。

コードが断線し、感電・故障の原因となります。



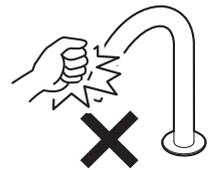
## 注意

製品に強い力や衝撃を与えないでください。

【してはいけない例】

- 固いものをぶつける
- 重いものを載せる
- 過度な体重をかける・もたれる

故障や漏水の原因になります。



吐水口本体に重いものを下げたり、力をかけて回したりしないでください。

変形、破損および吐水口本体の固定がゆるむおそれがあります。



メッキ面がはがれた場合、放置しないでください。メッキ面がはがれた部分でケガをするおそれがあります。



洗剤・薬品が製品に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。製品の割れや変色変質の原因となります。



使い始めの水がにおう場合は、しばらく流してからお使いください。



しばらく使われないと、水栓内の水は消毒用の塩素が少なくなり、におうことがあります。

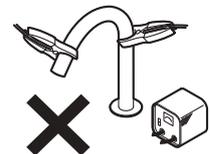
凍結が予想される場所では使用しないでください。

部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。凍結のおそれがある場合は、保温材を巻くなど、周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。

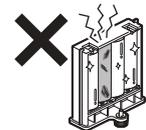


解氷機やアースを水栓に通電しないでください。

水栓が発熱で破損し、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因になります。



ご使用の際は、ACアダプターでご使用ください。バックアップ電池のみでの使用はお控えください。



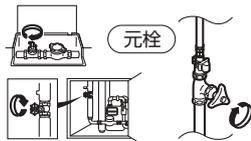
**⚠ 注意**

●中性洗剤以外は使用しないでください。  
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。

●お手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。

【使用してはいけないもの】

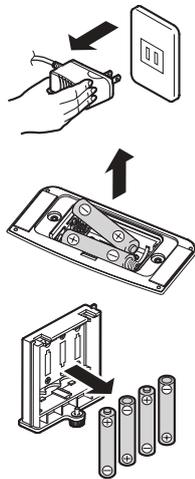
- 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
- ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
- クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
- ナイロンたわし・メラミンフォームなど製品の割れや変色変質の原因となります。



長期間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉め、下記のことを行ってください。

- ACアダプターを抜く
- リモコンの電池を取りはずす
- コントローラーの電池を取りはずす

誤作動や故障などによる予想しない事故や、電池の液漏れによるけがや周囲を汚損する原因となります。



●直射日光の当たる場所で使用しないでください。  
誤作動の原因となります。

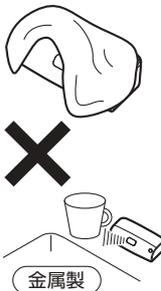
**リモコンを取付ける際の注意事項**

●リモコン検知窓の上を覆わないでください。

誤作動の原因となります。

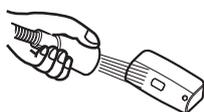
●リモコン検知窓付近に障害物を置かないでください。

誤作動の原因となります。特に、金属製のもの(コップ、スプーン、皿、ボウルなど)を置いた場合は、感知距離範囲外であっても誤作動を引き起こすおそれがありますので、ご注意ください。



●リモコンに直接水をかけないでください。

誤作動や故障の原因となります。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



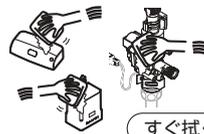
**⚠ 注意**

リモコンの検知窓の汚れは拭き取ってください。

汚れたまま使用すると、誤作動の原因となり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。  
検知窓を掃除する際はレバーを閉めてください。



●水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、すぐにきれいに拭き取ってください。  
本体の割れや変色変質の原因となります。



必ず実行

すぐ拭く

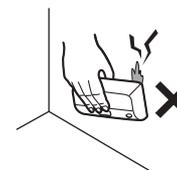


●リモコン正面の壁に鏡などの反射物を設置しないでください。  
誤作動の原因となります。



●リモコンは壁面や、しっかり固定できない場所には取付けしないでください。  
落下の原因となります。

また、表面材質の弱い場所にリモコンを取付けしないでください。  
塗装面や壁紙・化粧紙仕上げ・その他表面処理や材質によっては、リモコン取りはずし時に塗装や表面材がはがれたり、変色・劣化するおそれがあります。



●リモコンを貼付けるときは、貼付面の汚れをきれいに拭き取ってください。  
汚れたまま貼付けると、ゲルシートの強度が落ち、落下の原因となります。



●リモコンの電池を交換する際は、表面を保護するために、リモコンをゆっくりはがしてください。  
強い力で急にはがすと、リモコン取付部を傷つけたり、塗装や表面材がはがれる原因となります。



ゆっくり傾けながら回すようにはがす



●リモコンは何度も取りはずさないでください。  
ゲルシートの粘着力が落ち、落下の原因となります。  
粘着力が落ちた場合は、ゲルシートを交換してください。

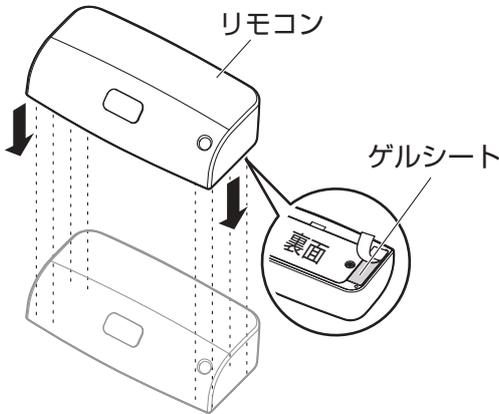


繰り返し

# ご使用について リモコンの設置

● P16「リモコンを取付ける際の注意事項」をご確認の上、設置してください。

- 1 リモコンに電池を入れます。  
※P21参照
- 2 リモコン裏面のゲルシートのはくり紙をはがし貼付けます。



## 取付位置



水栓本体の横など手をかざしやすい位置に設置してください。壁面などは落下により破損の原因となりますのでおやめください。

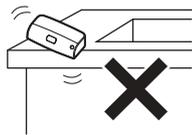
## ゲルシートについて

- ゲルシートは水分が付くと粘着が弱まる性質があります。粘着が弱いと感じたら、十分に乾燥させてから貼り付けてください。
- 貼って剥がせる特性上、壁面・垂直面には貼り付けられないでください。
- 剥がす際は、ゆっくりと剥がしてください。強く引っ張ると接地面の塗装などが剥がれてしまう場合があります。
- 長期間ご使用されると剥がれにくくなる場合があります。剥がしにくい場合は、薄いプラスチックのカードなどに水をつけ、ゲルシートと接地面の間にゆっくり差し込んでください。再度貼り付ける際は十分に乾燥させてから貼り付けてください。

## ⚠ 注意



リモコンは落下しないように、必ず固定してご使用ください。誤動作や故障の原因になります。水が浸入して漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



設置場所によって電波を送信しにくいことがありますので、固定前に動作を確認してから取付けてください。電波を受信しにくい場合は、受信アンテナを外に出すか、受信アンテナまたはリモコンの取付位置を変えてみてください。



リモコンは受信アンテナから1m以内の範囲に設置してください。



## ⚠ 注意



次のような場合は、誤動作や動作しない原因となります。

- ・カウンターが電波を阻害する材質である場合。
- ・インバーターや電波を用いた他の機器が近くにある場合。
- ・テレビ、ラジオの送信所や各種無線局が近くにある場合。
- ・リモコンと受信アンテナの間に、金属など電波を通しにくい障害物がある場合。
- ・周辺が金属で囲まれるような場所に置いた場合。
- ・食器洗浄機などの機器が近くにある場合。
- ・センサー検知窓に水滴・汚れ・泡・洗剤が付着している場合。



リモコン・受信アンテナは、鍋やアルミ箔などの金属で覆わないでください。電波の受信ができず、動作しない原因となります。



# ご使用について リモコンのペアリング

リモコンを増設すると、対面キッチンの両側など、複数の場所から水を出し止めすることができます。別売のリモコン（品番：MEK801-5F1）をお求めいただいた場合は、リモコンのIDコードをコントローラーに登録してください。また、登録したIDコードを削除すると、そのリモコンの使用を中止することができます。

※作業を行う前に止水栓を締めてください。

- 1 コントローラーの手動スイッチを押した状態で、増設（もしくは削除）するリモコンに手をかざします。
- 2 コントローラーより、（増設の場合）「ピッ」（削除の場合）「ピーッ」という音が鳴れば完了です。

- ※ リモコンにはIDコードが登録されています。IDコードをコントローラーに登録しないと、リモコンを使用することができません。
- ※ リモコンは、最大4台まで設置可能です。



増設するリモコン  
もしくは削除するリモコン

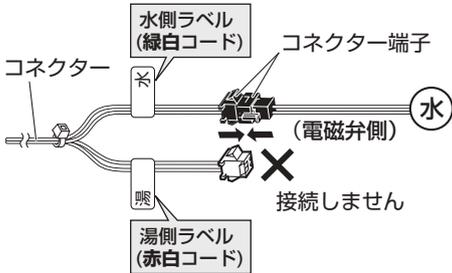
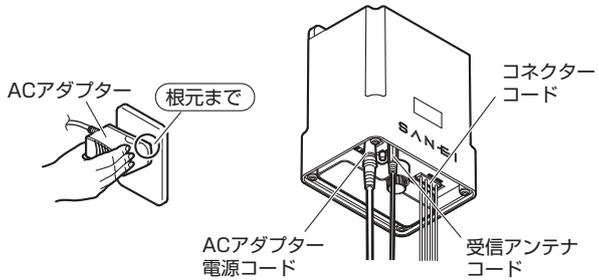
## 登録したIDコードの全削除

- 1 コントローラーの手動スイッチを長押し（10秒間）します。
- 2 コントローラーより、「ピーッ」という音が鳴れば完了です。

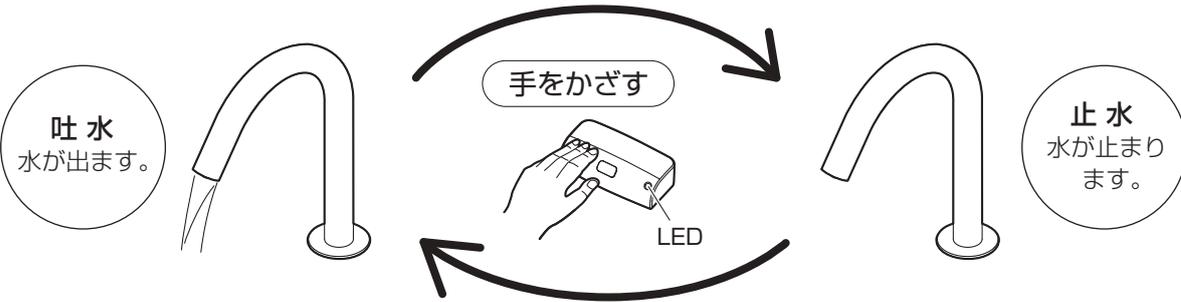
長押し（10秒間）

※ IDコードの全削除後、再度リモコンを使用する場合は、上記「増設・削除」の手順を行い、IDコードを再登録してください。

## ご使用について    ご使用前の確認

電磁弁・キャビネット内の確認	コード類・ACアダプターの確認
<ul style="list-style-type: none"> <li>●コード類は正しく接続されていますか？</li> <li>●止水栓は開いていますか？</li> <li>●キャビネット内の引き出しや収納物などが、コード類や各部品を圧迫していませんか？</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●コード類やACアダプターは、確実に接続されていますか？</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>①コネクタ、受信アンテナ、ACアダプターのコードが確実に接続されていることを確認してください。</li> <li>②コンセントにACアダプターが根元まで確実に差し込まれていることを確認してください。</li> </ol> 

## ご使用について    ご使用方法



手をかざして反応するとLEDが点灯します。  
点灯しない時は反応していません。

- ※ LEDが点灯している間は再び手をかざしても次の動作の受け付けを行いません。
- ※ リモコンに強い力や衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- ※ 吐水後に操作をしなかった場合、およそ5分後に自動で止水します。

## ご使用について    凍結予防

凍結のおそれがある場合は、次の処置によって凍結を予防できる場合があります。

- 配管部などに保温材を巻いてください。
- 屋内の窓を閉めるなどして水栓周囲の温度が氷点下にならないようにしてください。
- ※凍結による破損は保証期間内でも有料修理となります。



# 日頃のお手入れ 汚れの拭き取り

製品についた汚れを放置しておくと、汚れが落ちにくくなる場合があります。  
快適にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。

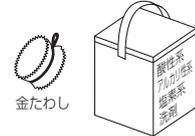
- 作業開始前に止水栓を閉めてください。参照：P23
- 柔らかい布で水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。
- 汚れが目立つときは、中性洗剤を柔らかい布にふくませて拭き取った後水拭きして、よくしぼった布で汚れを拭き取ってください。

## ⚠ 注意

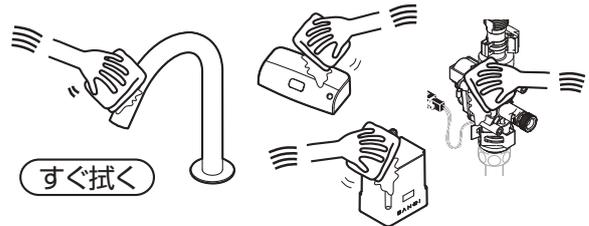


- 中性洗剤以外は使用しないでください。  
中性洗剤以外を使用すると、変色や破損のおそれがあります。
- 本体をお手入れする際は、次のものは絶対に使用しないでください。  
【使用してはいけないもの】
  - 酸性・アルカリ性および塩素系の洗剤類  
※特に酸性洗剤はメッキを侵します。
  - ベンジン・シンナー・ラッカー・アルコールなどの溶剤や油類
  - クレンザーなどの粒子の粗い洗剤
  - ナイロンたわし・メラミンフォームなど  
本体の割れや変色変質の原因となります。

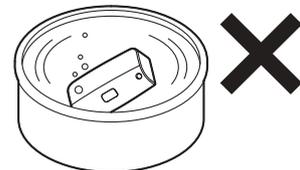
✕ 使用してはいけないものの例



水滴や泡・洗剤・薬品が本体に付着した場合は、  
すぐにきれいに拭き取ってください。  
本体の割れや変色変質の原因となります。



リモコンを水洗いしたり、水没させたりしないでください。  
リモコン内部に水が入り、故障の原因になります。  
ただし、ぬれた手で操作する程度は問題ありません。

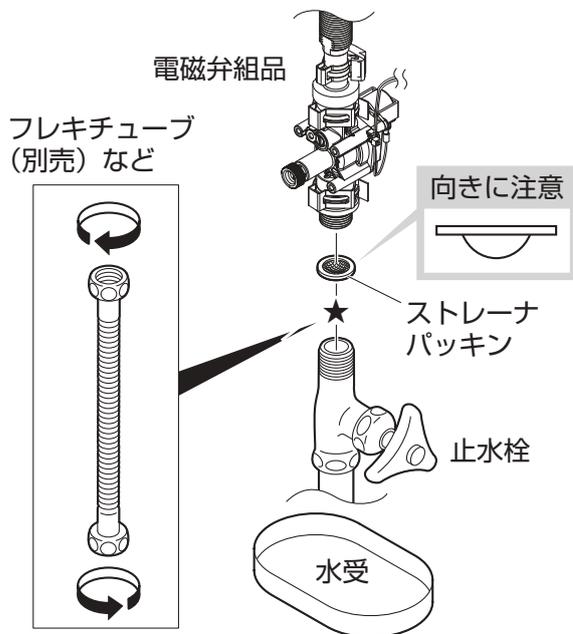


# 日頃のお手入れ ストレーナパッキン・吐水口の掃除

ストレーナパッキン・吐水口の汚れを放置しておくと、十分な機能を発揮できないことがあります。快適・衛生的にお使いいただくために、日頃のお手入れをおすすめします。(近所で水道工事があったり、長期間使用し湯水の出が悪くなった場合にも、汚れの点検・お手入れをおすすめします。)

- 1 止水栓を回し、止水します。
- 2 ■ ストレーナパッキンを掃除する場合 … 水受を用意し、電磁弁組品と止水栓を接続しているフレキチューブなどにはずします。  
■ 吐水口を掃除する場合 … 清潔なボタンやメダルを用いて泡沫器をはずします。

## ストレーナパッキンを掃除する場合



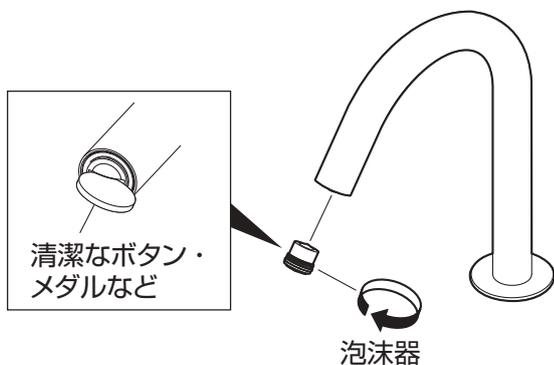
ハブラシなどでストレーナパッキンを掃除します。



注意

制御ユニットやコード接続部が水にぬれたり、汚れ、傷がつかないように注意してください。

## 吐水口を掃除する場合



ハブラシなどで網部分を掃除します。



注意

- 泡沫器をはずす際は、マイナスドライバーなど先の細いものは使用しないでください。
- 部品が排水口に落ちないように注意してください。

## 掃除後

部品を逆の手順で取付けます。



注意

- ストレーナパッキン、またはパッキンが入っていることを確認してください。
- ストレーナパッキン、またはパッキンの傷、ゴミかみに注意してください。水漏れの原因になります。
- ストレーナパッキンの向きに注意してください。
- 緩みがないように確実に締めてください。確実に締付けられていないと、水漏れの原因になります。

## 再使用时

- はずした部品が確実に閉まっているか確認してください。
- 止水栓を開いて水漏れ・動作チェックと吐水状態の確認を行ってください。参照：P12

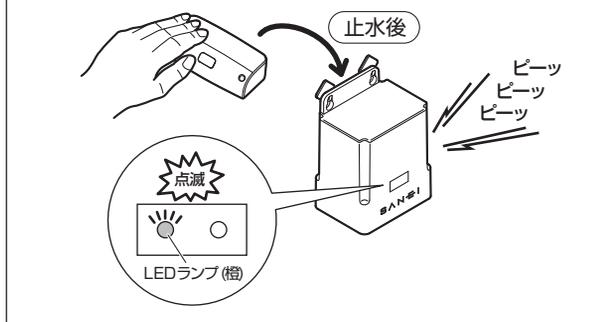
# 定期的な点検 電池交換

リモコン、コントローラーの電池は定期的に交換することをおすすめします。

## リモコンの電池交換

リモコンの電池は、アルカリ乾電池（単3×2本）を使用しています。吐水・止水の回数（吐水・止水で1回）が1日100回程度の使用で、約2年使用できます。使い方（使用頻度）や周囲の温度によっては、2年より短くなったり、長くなったりします。電池を1年以上使用している場合は早めに交換してください。

- リモコンの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ（橙）が点滅します。この場合、早めに電池を交換してください。



※作業を行う前に止水栓を閉めてください。

- 1 リモコンを両手で持ち、ゆっくり傾けながら、回すようにはがします。
- 2 リモコン裏面のねじ（2本）をゆるめ、電池フタをはずします。

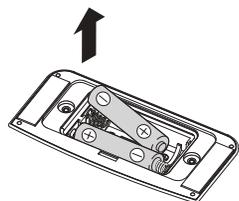


強く付いていることがあります。ゆっくり回すとはずれます。参照:P16



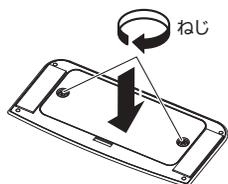
※ねじ・電池フタを無くさないように注意してください。

- 3 古い電池を取出し、新しい電池に交換します。



※使い切った乾電池は、早めに出してください。  
 ※必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。  
 ※充電式の乾電池は使用しないでください。  
 ※電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。  
 ※新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。  
 ※使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。（処理方法については、ご住まいの市町村の指示に従ってください。）

- 4 防水のため、電池フタをよく押し込んでから取付ねじ（2本）で取付けます。



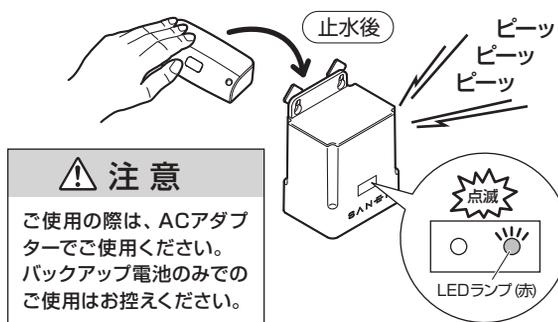
※リモコン内に水が入らないように注意してください。  
 ※ねじは必ず2本すべて取付けてください。水がリモコン内に入るおそれがあります。  
 ※電池フタをはめる際は、浮きが無いようにしっかりと押さえ込んでください。

## コントローラーの電池交換（バックアップ用）

コントローラーの電池は、別売のアルカリ乾電池（単3×4本）を使用します。停電時や、ブレーカーが落ちるなどして主電源が切れると、バックアップとしてコントローラーの電池が電源として働き、電池を消耗します。

- コントローラーの電池が切れかかると、止水後にコントローラーからブザーが3回鳴り、LEDランプ（赤）が点滅します。

この場合、早めに電池を交換してください。

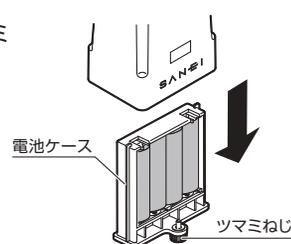
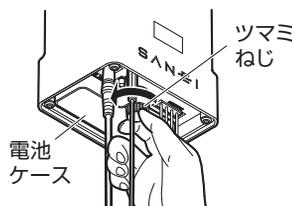


### 注意

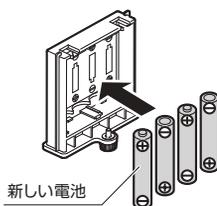
ご使用の際は、ACアダプターでご使用ください。バックアップ電池のみでの使用はお控えください。

※作業を行う前に止水栓を閉めてください。

- 1 コントローラー下部のツマミねじをゆるめます。
- 2 電池ケースを抜き出します。

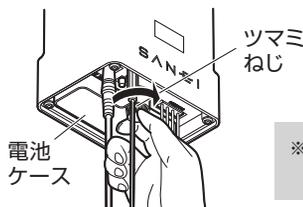


- 3 古い電池を取出し、新しい電池に交換します。



※使い切った乾電池は、早めに出してください。  
 ※必ず、アルカリ乾電池をご使用ください。  
 ※充電式の乾電池は使用しないでください。  
 ※電池は極性表示に注意して、＋の方向を正しく入れてください。  
 ※新・旧および異なる種類の電池を混ぜて使用しないでください。  
 ※使用済みの電池は、セロハンテープで絶縁し、不燃物のごみとして処理してください。（処理方法については、ご住まいの市町村の指示に従ってください。）

- 4 電池ケースをコントローラーの奥までしっかりと差し込み、ツマミねじで固定します。

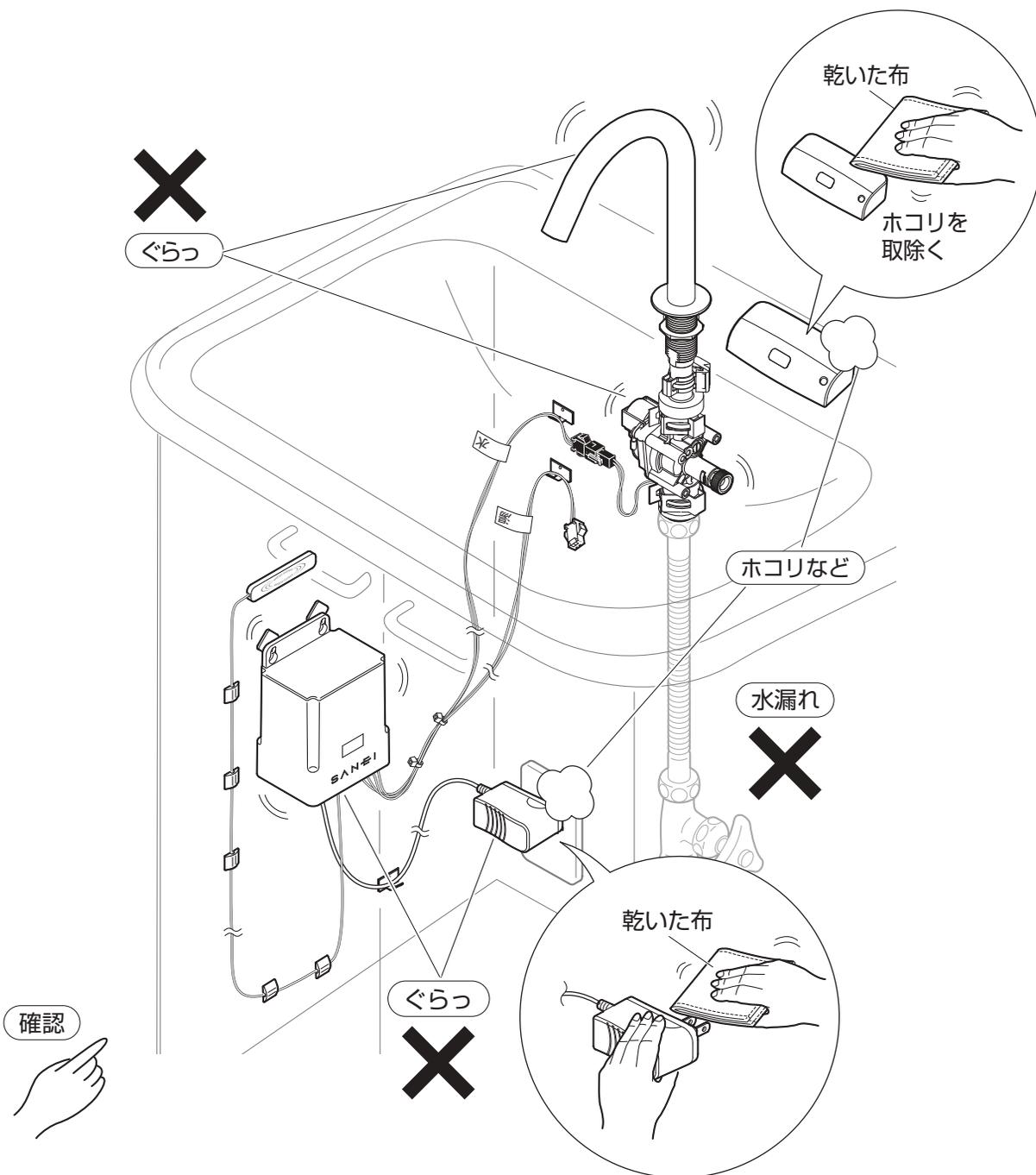


※コントローラー内に水が入らないように注意してください。

# 定期的な点検

配管周りの水漏れ・器具のガタツキ・ホコリの除去

- 定期的に、配管周りの水漏れがないか確認してください。（年2回を目安）
- 定期的に、器具のガタツキがないか確認してください。（年2回を目安）  
劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- 定期的に、ACアダプターについてのホコリを取除いてください。（…月1回を目安）  
ACアダプターの端子にホコリなどがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。  
ACアダプターを抜き、乾いた布でホコリを取除いてください。
- 定期的に、リモコンについてのホコリを取り除いてください。（…月1回を目安）  
検知窓にホコリなどがたまり、誤作動の原因となり、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



- 漏水を確認した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。  
修理の依頼をされる場合は、「保証とアフターサービス」（P26）を参照してください。

# こんなときは 故障？ その前に

## ◆リモコンの電池が切れたら？

●早めに電池を交換してください。

参照：P21

## ◆リモコン反応しなかったら？

●以下の内容をご確認いただき、それでも反応しない場合

「保証とアフターサービス」を参照してください。

参照：P26

・乾いた布でリモコンを拭いてください。

参照：P22

・新しいアルカリ乾電池に交換してください。

参照：P21

## ◆リモコンを紛失したら？

●別売のリモコン（品番：MEK801-5F1）をお求めいただいた場合は、リモコンのIDコードをコントローラーに登録してください。

参照：P17

## ◆コントローラーの電池が切れたら？

●早めに電池を交換してください。

参照：P21

※ ACアダプターで駆動できれば、停電時以外はリモコンを使用することができます。

## ◆コントローラーが故障したら？

●ただちに止水栓または配管部の元栓を閉め、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問い合わせください。

参照：P26

## ◆停電したら？

※ 停電すると、コントローラーはACアダプターでの駆動から電池駆動に切替わります。停電が復旧すると、ACアダプターでの駆動に戻ります。

※ コントローラーの電池が切れている場合は、リモコンで作動しません。

●この場合、コントローラーの電池を交換してください。

参照：P21

●本製品は、停電時でもバックアップ電池により作動可能としていますが、停電時にバックアップ電池が消耗していると使用できないため、早めに電池を交換してください。

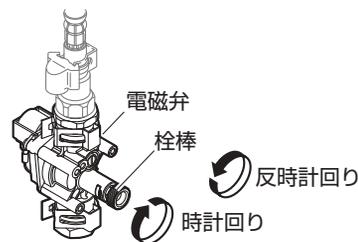
## ◆吐水・止水時に弁鳴り(チャタリング)したら？

●電磁弁からエアを抜いてください。

右記参照

## ●電磁弁を強制的に開閉してエアを抜きます。

下記図を参考に、下記操作を行ってください。



※ 栓棒は、当たりまで回してください。

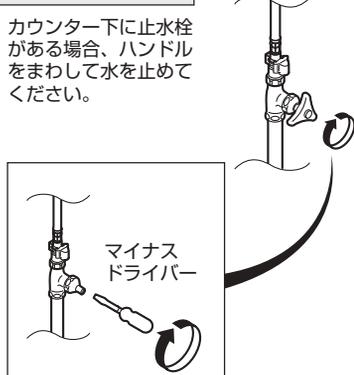
- ① 栓棒を時計回りに当たりまで回して強制開放し、30秒程度連続吐水させます。
- ② 30秒程度連続吐水させます。
- ③ 電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回します。
- ④ 手順①～③を3回繰り返します。
- ⑤ ご使用の水栓で吐水させて、吐水の乱れや弁鳴り(チャタリング)がないことを確認できたら完了です。

## 漏水した場合の処置

漏水した場合は、止水栓または配管中の元栓を閉めてください。

### 止水栓の閉め方

カウンター下に止水栓がある場合、ハンドルをまわして水を止めてください。



### 元栓の閉め方

元栓ボックス（メーターボックス）のふたを開け、元栓を右にまわして閉めます。

- ※ 元栓を閉める前に給湯機や洗濯機などの使用は止めてください。
- ※ 閉栓後は近くの水栓などで給水が止まっていることを確認してください。
- ※ 一部の地域では左まわしの場合があります。
- ※ 元栓がどこにあるかわからない場合は、水道局にお問い合わせください。

#### ■ 戸建て住宅などの元栓ボックス：

主に玄関やガレージ付近の地面にあります。古い戸建て住宅の場合は道路に円形のキー式ボックスがあったりします。

##### ●キー式

止水栓キー  
SANEI品番：  
PR30A  
(止水栓キー)



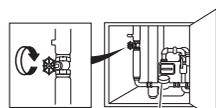
##### ●ハンドル式

水道メーター  
(量水器)



#### ■ マンションなどの中高層住宅の元栓ボックス：

主に玄関を出た階段の踊り場に鉄の扉があり、電気やガスのメーターと共に水道メーターと元栓があります。お隣と共通のボックス内で元栓の場所がわからない場合は、水道料金の検針票などでご自分の水道メーター番号を確認してください。



水道メーター（量水器）

# こんなときは 故障？ その前に

修理をご依頼される前に、次の表に従って点検してください。

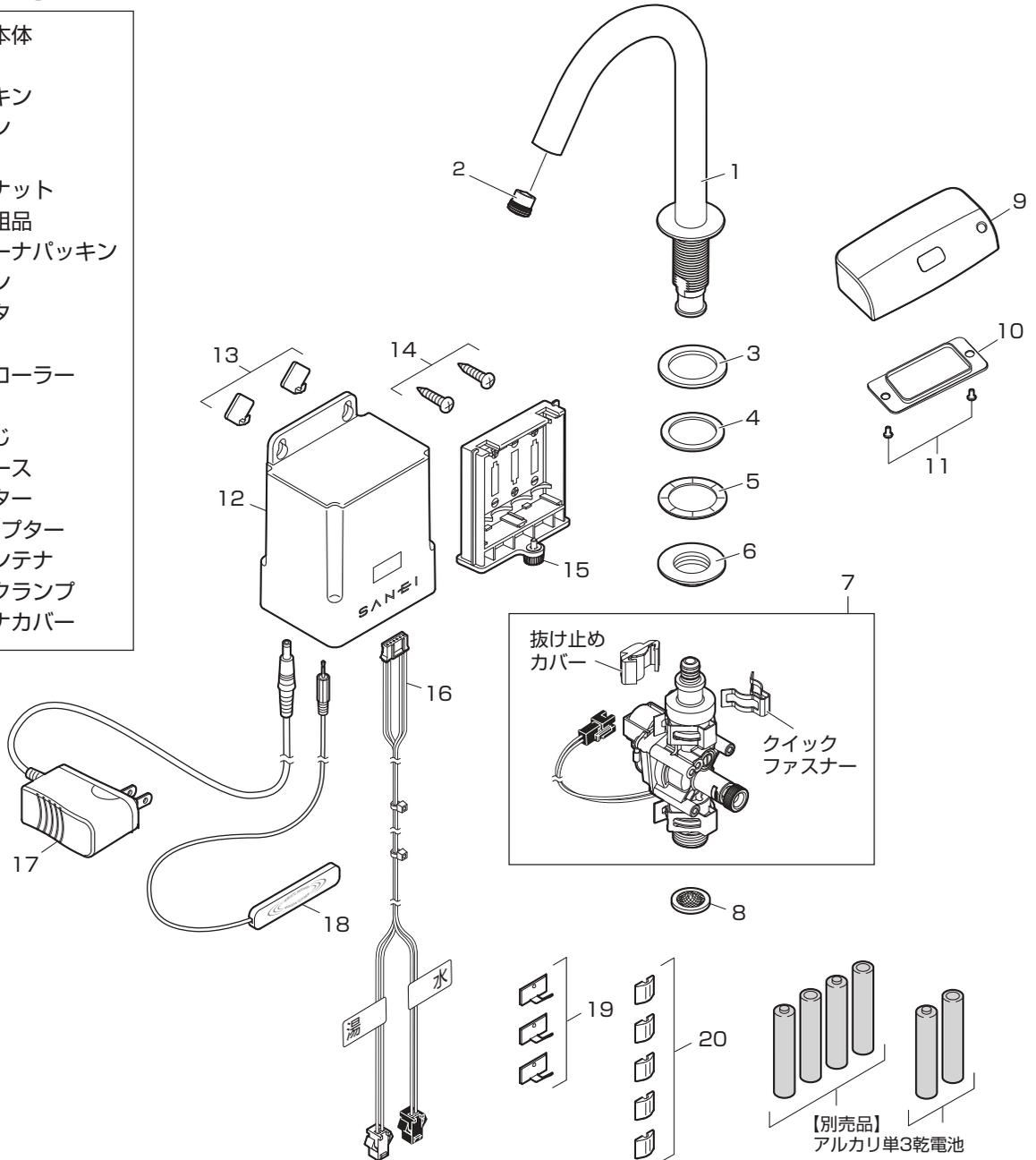
現象	点検項目	処置
水が出ない	止水栓は開いていますか。	止水栓を開く。
	ACアダプターはコンセントに差し込まれていますか。	ACアダプターを差し込む。 参照：P10
	ストレーナ・吐水口のゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P20
	コントローラーの電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P21
	リモコンに電池は入っていますか。	電池を入れる。 参照：P21
	リモコンの電池の向きは正しいですか。	電池を正しい向きで入れ直す。 参照：P21
	コード類は確実に接続されていますか。	コード類を確実に接続する。 参照：P10～11
	直射日光の当たる場所で使用していませんか。	日当たりのよい場所での使用は避けてください。
	停電中ではありませんか。	(コントローラーの電池が切れている場合)電池を交換する。 参照：P21
	断水中ではありませんか。	回復するまで待つ。
	リモコンと受信アンテナの距離が1m以上ではありませんか。	リモコンと受信アンテナの距離を1m以内にする。
	金属面にリモコンや受信アンテナを取付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物はありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	センサー検知窓に水滴、汚れ、泡、洗剤が付いていませんか。	柔らかい布でふきとる。 参照：P22
水が止まらない	直射日光の当たる場所で使用していませんか。	日当たりのよい場所での使用は避けてください。
	停電中ではありませんか。	(コントローラーの電池が切れている場合)電池を交換する。 参照：P21
	リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P21 ..... コントローラーの電池を交換する。 参照：P21
	金属面にリモコンや受信アンテナを取付けていませんか。	金属面以外の場所に取付ける。
	リモコンと受信アンテナの間に鍋や組み込み型食器洗浄機など金属製の障害物はありませんか。	障害物を取除く。 障害物を取除けない場合はリモコンまたは受信アンテナを移動する。
	電波やインバーターを用いた他の機器が近くにありませんか。	該当する機器を遠ざける。
	電磁弁が強制解放された状態になっていませんか。	電磁弁の栓棒を反時計回りに当たりまで回す。 参照：P13
	センサー検知窓に水滴、汚れ、泡、洗剤が付いていませんか。	柔らかい布でふきとる。 参照：P22
流量が少ない	止水栓は十分に開いていますか。	止水栓で流量を調節する。
	ストレーナ・吐水口のゴミづまりはありませんか。	ストレーナ・吐水口の掃除をする。 参照：P20
吐止水時に弁鳴り(チャタリング)する	電磁弁にエアが入っていませんか。	電磁弁を強制的に閉閉する。 参照：P23
止水時水撃音が鳴る	止水栓は調節されていますか。	止水栓で流量を調節する。 ※それでも直らない場合は、水撃低減器をお買い求めください。 SANEI品番：T1670-13(水撃低減器)
止水後ブザーが鳴る	リモコンまたはコントローラーの電池が切れていませんか。	リモコンの電池を交換する。 参照：P21 ..... コントローラーの電池を交換する。 参照：P21

# こんなときは 本製品の構造

本製品の構造を表したイラストです。構造をご理解いただくのにご使用ください。

## AY40S3-13

1. 吐水口本体
2. 泡沫器
3. 座パッキン
4. パッキン
5. 菊座金
6. ロックナット
7. 電磁弁組品
8. ストレーナパッキン
9. リモコン
10. 電池フタ
11. ねじ
12. コントローラー
13. フック
14. 取付ねじ
15. 電池ケース
16. コネクター
17. ACアダプター
18. 受信アンテナ
19. コードクランプ
20. アンテナカバー



## 仕様

型 式	AY40S3-13		消費電力	待機時：0.5W ----- 動作時：5W
電 源	コントローラー	<ul style="list-style-type: none"> <li>●AC100V：50/60Hz</li> <li>●DC 6V：(別売)アルカリ乾電池 単3形×4本 電池寿命約2ヶ月(参考値) (100回/日使用時)</li> </ul>	給水圧力	最低必要水圧(流動時)：0.05MPa ----- 最高使用水圧(静止時)：0.75MPa
	リモコン	<ul style="list-style-type: none"> <li>●DC 3V：(別売)アルカリ乾電池 単3形×2本 電池寿命約2年(参考値) (100回/日使用時)</li> </ul>	使用可能水質	水道水
	最大感知距離	約90~100mm	使用環境温度	0℃~40℃(凍結不可)
	自動止水機能	吐水してから5分後に自動的に止水	給水部接続	G1/2
			用 途	手洗用
		コード長さ	ACアダプター：1.8m 電磁弁+コネクター：1.1m (0.1m + 1.0m) 受信アンテナ：1.5m	

# 保証とアフターサービス

## 〔保証について〕

- この製品は保証書の内容に従って保証されています。  
お買上げ(お取付け)年月日、販売店(工事店)名が記入してあることを確認してください。
- 保証期間中は保証書の規定に従って、修理をさせていただきます。  
保証期間内でも有料になることがありますので保証書の内容をご確認ください。  
保証期間は保証書を確認してください。
- 保証期間を過ぎていても修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

## 〔水栓の定期的な点検・部品交換について〕

水栓の性能を維持するために定期的な点検・部品交換が必要です。摩耗劣化部品は、5年を交換の目安としておりますが、逆止弁については、より安全を考え、早め(3~5年)の点検・交換をおすすめします。(交換時期は、使用環境などにより異なります。)

### 定期点検・部品交換

使用年数

1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12

お客様による日常のお手入れ・点検

買替え  
ご検討

摩耗劣化部品の交換

日頃のお手入れについてはP19~20、定期的な点検についてはP21~22をご確認ください。

消耗部品とは、使われてなくなっていく部品のことです。

消耗部品の例／アルカリ乾電池など

摩耗劣化部品とは、日頃使用する度に摺動する、または摩耗及び劣化しやすい部品のことです。

摩耗劣化部品の例／電装部品(センサー)・電磁弁・網(ストレーナ)・パッキン・オーリングなど

部品が摩耗劣化すると操作性低下、機能障害、劣化物流出や水漏れなどの原因になりますので、交換が必要です。

部品の詳細についてはP25を参照してください。

## 〔補修用性能部品の供給期間〕

この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品であり、使用期間中に取替える可能性が高いもの)の供給期間は製造中止後10年です。

## 〔修理の依頼と部品交換の依頼について〕

- 修理依頼と部品交換依頼先：お求めの販売店(工事店)又は当社
- 連絡していただきたい内容：
  - 住所、氏名、電話番号
  - 品番、品名
  - お買上げ(お取付け)年月日
  - 故障内容、異常の状況(水漏れ箇所の説明など)、部品交換の依頼
  - 訪問希望日



- 当社の修理および部品交換料金は「技術料」+「部品代」+「出張料」で構成されています。

「技術料」……診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用。

「部品代」……修理および部品交換に使用した部品代。(無料修理で交換した古い部品・製品は当社の所有になります。)

「出張料」……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用。

## 〔部品のご購入や修理の依頼、ご相談は〕

- まずは、お求めの販売店(工事店)へご相談ください。  
ご不明な場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号

カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721

受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)

ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)

## 水栓金具保証書

本書は、本書記載内容で無料修理させていただく事をお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した場合は、お買上げの販売店(工事店)にご依頼いただき、出張修理に際して本書をご提示ください。

お買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名など記入もれがありますと無効となります。

必ずご確認ください、記入のない場合はお買上げ(お取付け)の販売店(工事店)に申し出ていただくか、レシート又は領収書を貼付してください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

品番	品番は製品本体に貼っているシールをご確認ください。		
保証期間	対象部品	期間(お買上げ日/お取付け日から)	
	本体	2カ年	
お買上げ日 (お取付け日)	年 月 日		
お客様	お名前	様	
	ご住所		
	電話	( )	
	販売店	店名 住所	
	工事店		
	電話	( )	

＜無料修理規定＞ ご依頼の前に再度、取扱説明書をお読みいただきご確認ください。

- 「取扱説明書」、「ラベル」などの注意書に従った正常な使用、維持管理状態で、保証期間中に故障した場合、無料修理いたします。
- ご転居、ご贈答品などで本保証書に記入の販売店(工事店)に修理を依頼できない場合は当社にご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - (1) 使用、維持管理上の誤り及び不当な修理、改造による故障及び損傷
  - (2) 温泉水、中水、飲用不可な井戸水による故障及び損傷
  - (3) お買上げ(お取付け)後の取付場所の移動及びそれに伴う落下などによる故障及び損傷
  - (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害など、その他の事故及び損傷の原因が製品以外にある場合
  - (5) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)及び外部ノイズなどに起因する不具合
  - (6) 消耗部品の劣化に伴う故障及び損傷
  - (7) 施工説明書などに基づかない施工、専門業者以外による移動・分解・改造などに起因する不具合
  - (8) 建築躯体の変形(強度不足・ゆがみ)など製品以外の不具合に起因する製品の不具合及び表面仕上げ、色あせなどの経年変化又は使用に伴う摩耗などにより生じる外観上の不具合
  - (9) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性の空気環境に起因する不具合
  - (10) ねずみ、昆虫などの動物の行為に起因する不具合
  - (11) 砂やごみ、給水・給湯配管の錆など異物流入及び水あかの固着に起因する不具合
  - (12) 寒冷地仕様の製品で水抜きをされなかった場合や、寒冷地仕様でない製品の場合の凍結による故障及び損傷
  - (13) 本書の提示がない場合
  - (14) 本書にお買上げ(お取付け)年月日、お客様名、販売店(工事店)名の記載がない場合、あるいは字句の書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
  - ★ この保証書は本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などにつきましてはお買上げの販売店(工事店)、または当社にお問合せください。
  - ★ 補修用性能部品の保有期間についてご不明の場合は当社カスタマーセンターへお問合せください。

修理メモ

SANEI 株式会社

〒537-0023 大阪市東成区玉津1丁目12番29号  
 カスタマーセンター ☎ 0120-06-9721  
 受付時間 9:00~17:30(土日祝除く)  
 ホームページ [www.sanei.ltd](http://www.sanei.ltd)